【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第６区分
【発行日】令和7年3月24日(2025.3.24)

【公開番号】特開2023-152140(P2023-152140A)
【公開日】令和5年10月16日(2023.10.16)
【年通号数】公開公報(特許)2023-194
【出願番号】特願2022-62112(P2022-62112)
【国際特許分類】
Ｂ６５Ｄ 83/00(2006.01)
Ａ４５Ｄ 34/04(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ６５Ｄ 83/00 Ｇ
Ａ４５Ｄ 34/04 ５３０

【手続補正書】
【提出日】令和7年3月12日(2025.3.12)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
内部に液体の収容が可能な収容部と、該収容部の一部を覆うガード部とを有し、
前記収容部の少なくとも一部が、小孔エラストマーシートから形成されており、
前記小孔エラストマーシートは、複数の小孔を有し、伸縮により該小孔が開閉可能になされており、
前記ガード部に覆われていない押圧操作部を介して、該小孔エラストマーシートを加圧することによって、前記小孔を開口させ前記液体を排出させるようになされている、液体収容容器。
【請求項２】
開口が形成された天面部と、内部に液体の収容部が形成される容器本体とを有し、
前記天面部の内面側に、前記小孔エラストマーシートが配されており、該天面部の前記開口が前記押圧操作部であり、該開口から該小孔エラストマーシートを加圧することにより前記液体を排出させるようになされている、請求項１に記載の液体収容容器。
【請求項３】
前記天面部の内面に、前記小孔エラストマーシートが固定されている、請求項２に記載の液体収容容器。
【請求項４】
前記収容部と連通する、前記液体の充填口を有する、請求項３に記載の液体収容容器。
【請求項５】
断面視において前記収容部が、前記天面部から離れる方向に向けて先細りしたテーパー形状の底部を有している、請求項３又は４に記載の液体収容容器。
【請求項６】
上下反転部材を有し、前記天面部を鉛直方向下向きにして使用される、請求項２～４の何れか１項に記載の液体収容容器。
【請求項７】
前記収容部が、前記小孔エラストマーシートを含んで構成された袋体により形成されている、請求項１又は２に記載の液体収容容器。

【請求項８】
前記袋体が、前記液体の充填路を有している、請求項７に記載の液体収容容器。
【請求項９】
前記収容部内に、前記液体の含浸体を有している、請求項１～４の何れか１項に記載の液体収容容器。